



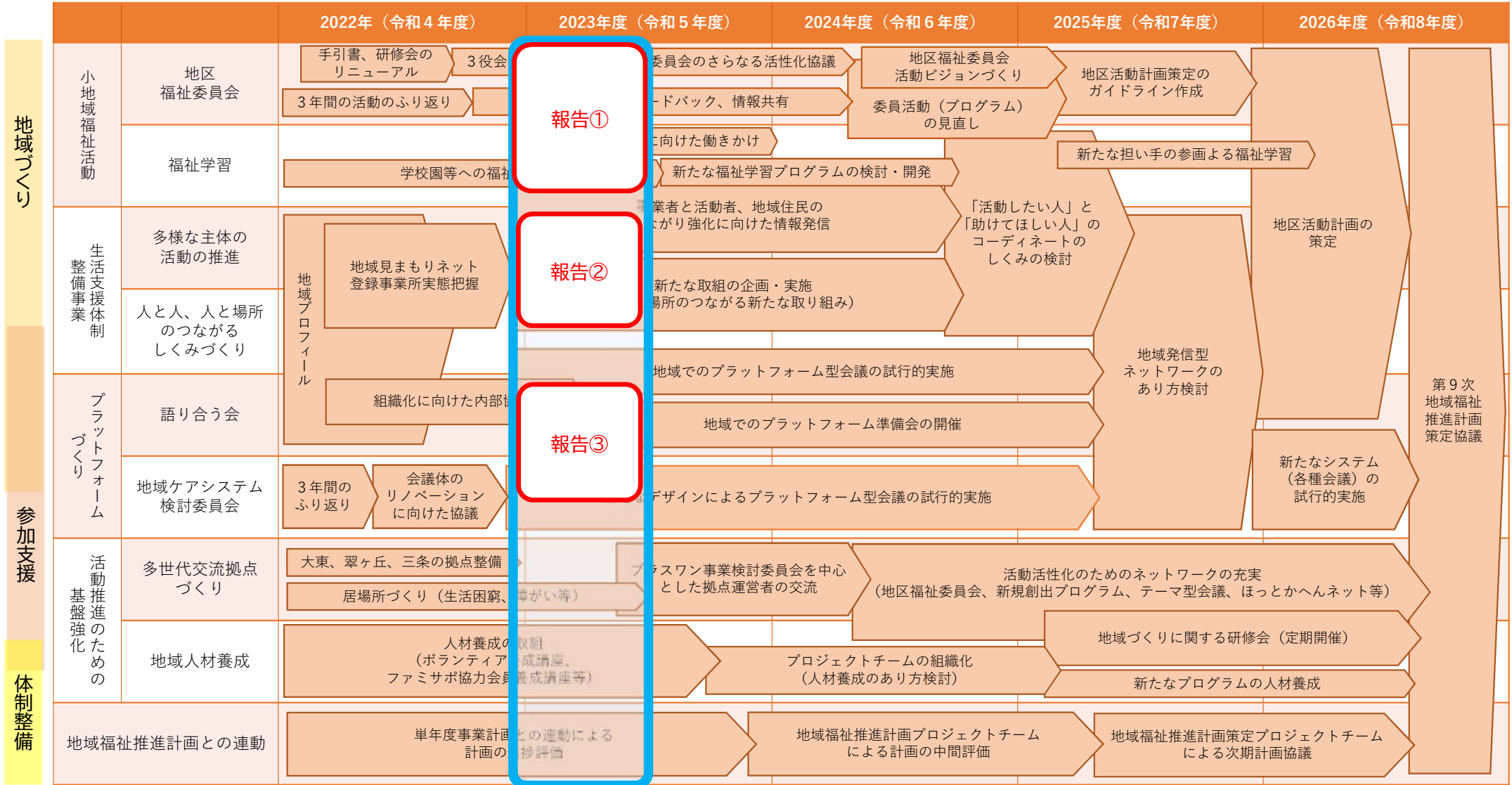
芦屋市地域福祉推進協議会 資料

# 社協の地域づくり実践報告

芦屋市社会福祉協議会

# 地域づくり実践の中長期展開ビジョン(中長期全体工程表)

令和4年度第2回芦屋市地域福祉推進協議会配布資料(芦屋市社会福祉協議会作成)



# 小地域福祉活動(地区福祉委員会、福祉学習)

令和5年度第1回芦屋市地域福祉推進協議会配布資料(芦屋市社会福祉協議会)

## 1 事務局が設定した目標と取組状況

|         | 事務局が設定した目標  | 目標達成のための取組  |
|---------|---|---|
| 地区福祉委員会 | ① 委員会でのディスカッションがより活性化する(参加している委員が活発に自分の意見を言う場になる) | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 三役会への地区担当ワーカー、地域支え合い推進員の参画による会議デザイン等の協議</li> <li>● 地区福祉委員会でのペアワーク等の導入</li> <li>● 地区福祉委員会正副代表者会での写真や作成した広報誌の紹介や意見交換</li> <li>● 付箋やホワイトボードを活用した会議運営</li> <li>● 実施した活動のふり返りと意味づけ</li> </ul> |
|         | ② 委員活動(委員会活動)の意義ややりがいを実感しモチベーションが高まる              |   |
| 福祉学習    | ① 福祉学習実施時の新しい担い手が参画するようになる                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 障がい当事者による講義か講話</li> <li>● 地区福祉委員会やボランティアグループへの担い手依頼と福祉学習の実施</li> <li>● 社協サービス部門(訪問介護事業、居宅介護支援事業の従事者等)の参画に向けた内部協議</li> </ul>  |
|         | ② 新たな福祉学習実施先ができる(新たな学校園での福祉学習の実施)                 |   |

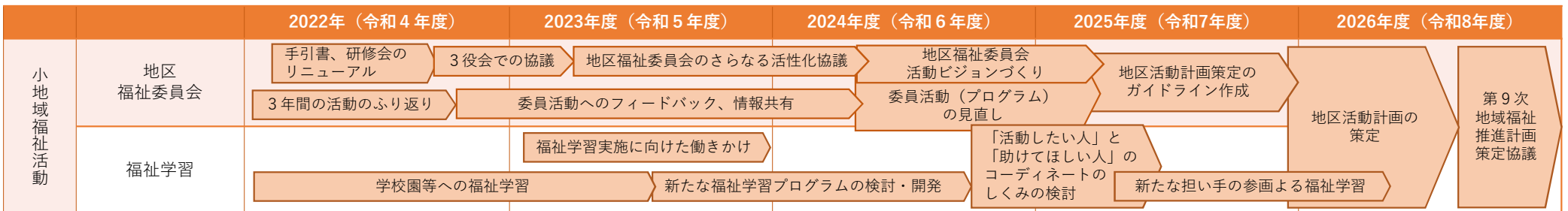


地区福祉委員会正副代表者会議



保育園での福祉学習

## 2 中長期展開ビジョン(再掲)



# 生活支援体制整備事業(多様な主体の活動の推進、人と人、人と場所のつながるしくみづくり)

令和5年度第1回芦屋市地域福祉推進協議会配布資料(芦屋市社会福祉協議会)

## 1 事務局が設定した目標と取組状況

|            | 事務局が設定した目標  | 目標達成のための取組  |
|------------|---|---|
| 生活支援体制整備事業 | ① 住民主体の活動がより多くの地域住民に周知され、各所で実施されている活動へ参加する人が増える(参加者、担い手の双方) | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域みまもりネット登録事業者把握フィールドワーク報告会の実施</li> <li>● 生活支援体制整備事業意見交換会での活動報告と活動計画の共有</li> <li>● アクションプログラム推進協議会—アクションアワード2023—への活動団体の推薦</li> <li>● フードドライブ交流会兼活動団体交流会の実施</li> <li>● 一芸披露会の実施</li> <li>● つどい場ガイド2023の発行</li> </ul> |
|            | ② 住民主体の活動者・活動団体が、相互の活動に対する関心を高め、相互交流するようになる                 |   |
|            | ③ テーマ型活動(例:各種カフェ、地域食堂など)と地縁型活動(例:地区福祉委員会活動など)が相互交流するようになる   |   |
|            | ④ 地域支え合い推進員が受託法人代表者や地域活動者に認知され、地域活動者や専門機関職員から役割を求められるようになる  |   |



生活支援体制整備事業意見交換会の様子



一芸披露会の様子

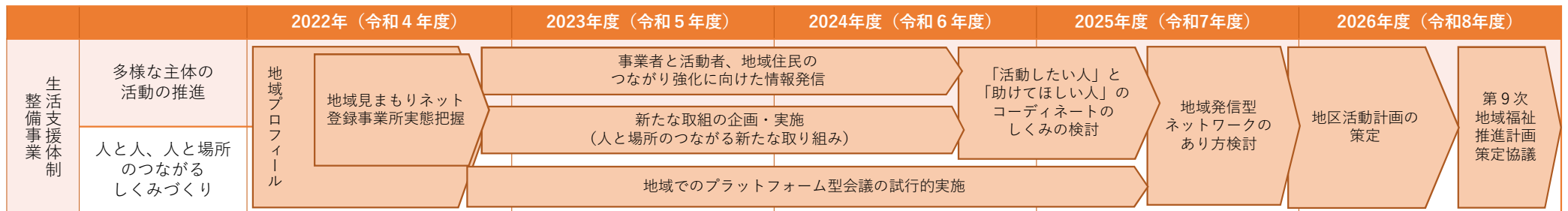


福祉センターエントランスパネル展の様子



フードドライブ食品提供会兼活動団体交流会

## 2 中長期展開ビジョン(再掲)



# プラットフォームづくり(語り合う会、地域ケアシステム検討委員会)

令和5年度第1回芦屋市地域福祉推進協議会配布資料(芦屋市社会福祉協議会)

## 1 事務局が設定した目標と取組状況

|             | 事務局が設定した目標  | 目標達成のための取組  |
|-------------|---|---|
| プラットフォームづくり | ① 住民主体の活動者・活動団体が、相互の活動に対する関心を高め、相互交流するようになる〔再掲〕   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動者同士の相互交流によるプログラムの実施(例:スマホカフェ、国際ソロプチミスト芦屋ほほえみ支援、マチナカ手芸部)</li> <li>● 地域住民が考える「地域課題の解決」や「めざす地域」に向けた活動の支援(例:またあしたバル)</li> <li>● 地域福祉活動者が関心を抱く「地域の福祉問題」と、専門機関が対応する相談事例の統合に向けた協議(例:重層的支援のチーム会議)</li> </ul> |
|             | ② 地域活動者や地域活動団体が「やりたい活動」を実施するプロセスに多様な活動者が参画するようになる |   |
|             | ③ 地域住民や地域活動団体が関心を持つ地域の福祉課題が明らかになる                 |   |
|             | ④ 地域でのプラットフォーム型会議の開催の必要性が地域住民間で高まる                |   |



スマホカフェの様子



またあしたバルの様子



ソロプチセブイベント打合せの様子



マチナカ手芸部の高校生への説明の様子

## 2 中長期展開ビジョン(再掲)

